

WORK STYLE DESIGN

KAJIMA DESIGN

PLATFORM DESIGN

場所と可能性のアップデート

KAJIMA DESIGNのオフィスは、次なるステージへ。
アトリウムを中心に多彩なワークスペースを配置し、
クリエイティビティを刺激する快適性と機能性を共存させました。
ワークスタイルの変化から生まれるシナジーをあらゆる角度から引き出します。

Roots of KI

KIビルの本質を活かす

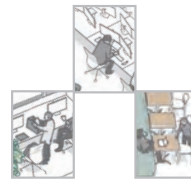
ABW office design

多彩なワークスペース



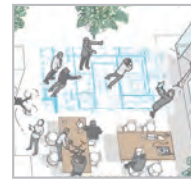
Create with Nature
ウェルビーイングから
生まれるデザイン

アトリウムの自然がもたらす
サステナブルな環境で働き、五感
や資質を磨いていく。KAJIMA
DESIGNはワークスタイルも
デザインの力に変える



Flexible Work
柔軟な働き方を

合理性だけではなく、そのときの
感覚や機微で働く場所を変えて
みる。その選択から起こるセレン
ディビティは感性をさらに刺激
する



Cultivating Space
働く環境を全員で育てる

全員が働く環境を育て、組織として
クリエイティブなパフォーマンス
を発揮できる場へと創りあげて
いく

PERFORMANCE DESIGN

時間と共創性のアップデート

DXがもたらしたコミュニケーションの円滑化や作業の効率化が進むなか、
一人ひとりの働き方における「時間」の質やスピード感のリフレーミングを
促し、協働と生産性を自律的に高めます。新しい価値を創造するため、
「共創」により多様な人材と個性の集結を強みとする組織をめざします。

FLEX & COLLAB

個と協働の仕組み

DX

コミュニケーションツール



Smart Work
ベストな
ワークスタイルの確立

自律的なタイムマネジメントを
通じて、一人ひとりがパフォーマ
ンスを最大化できるワークスタイル
を発見し、クリエイティビティを
向上させる



Communication Driven
共有・共感と協働

日常的に状況を共有し合う、
互いの情報への共感能力を高く
もつ。多様な人材のバイタリティ
を質の高いコミュニケーションで
引き出す、協働力のある組織へ



Knowledge Circulation
知恵と技術を共有する

ICTでコミュニケーションを活性
化させ、新たな価値創出へと
つなげていく。多様な人々の知恵
や技術を集約・共有して次の
KAJIMA DESIGNへ

Design, KAJIMA DESIGN

我々の活動を貫くものは"Design,"である。

技術、形態、性能、スピード、信頼、持続可能性 ――

すべてを我々のデザイン領域とする活動。

"Design, KAJIMA DESIGN"は

一人ひとりが "Design,"に向き合うための

KAJIMA DESIGN の理念と実践である。

“オフィスの主役はそこで働く人である”
“人間にとって真に快適な環境をつくる”
その想いをかたちにしたのが、KIビルです。

1989年の竣工以来、現在に至るまで
鹿島 建築設計本部は
KIビルを創造の拠点としてきました。

建物の核となるアトリウムは
KAJIMA DESIGNの中心であり、原点です。
コミュニケーションや思考の場として
あるいは、リフレッシュさせる空間として
私たちに寄り添い、その真価を発揮しています。

明日の普通を創造する

アトリウムから広がる植栽の彩りや生命力
集う人々のざわめき
光、音、香り、そして流れる空気
30年以上前から変わることのない
無限のように感じる豊かさ。

KAJIMA DESIGNはこの場所から
100年先の未来にも「普通」であり続ける
色あせない価値を提供していきます。

KIビルの象徴であり
社員の原風景でもあるアトリウム。
ワークスペースから五感で触れ合える自然や
アトリウム越しに見える人々の活気など
建物の真価をより活かし、パフォーマンスが
高まるよう再編しました。





1 タスクスペース
図面や資料づくりなどのタスクに適した集中エリアのスペース。開放感のある高い天井が創造性を高め、室外を感じるシートに座ってモードにフィットさせることも可能



2 ナレッジスペース
発想力や創造力を刺激する“知”を共有・活用



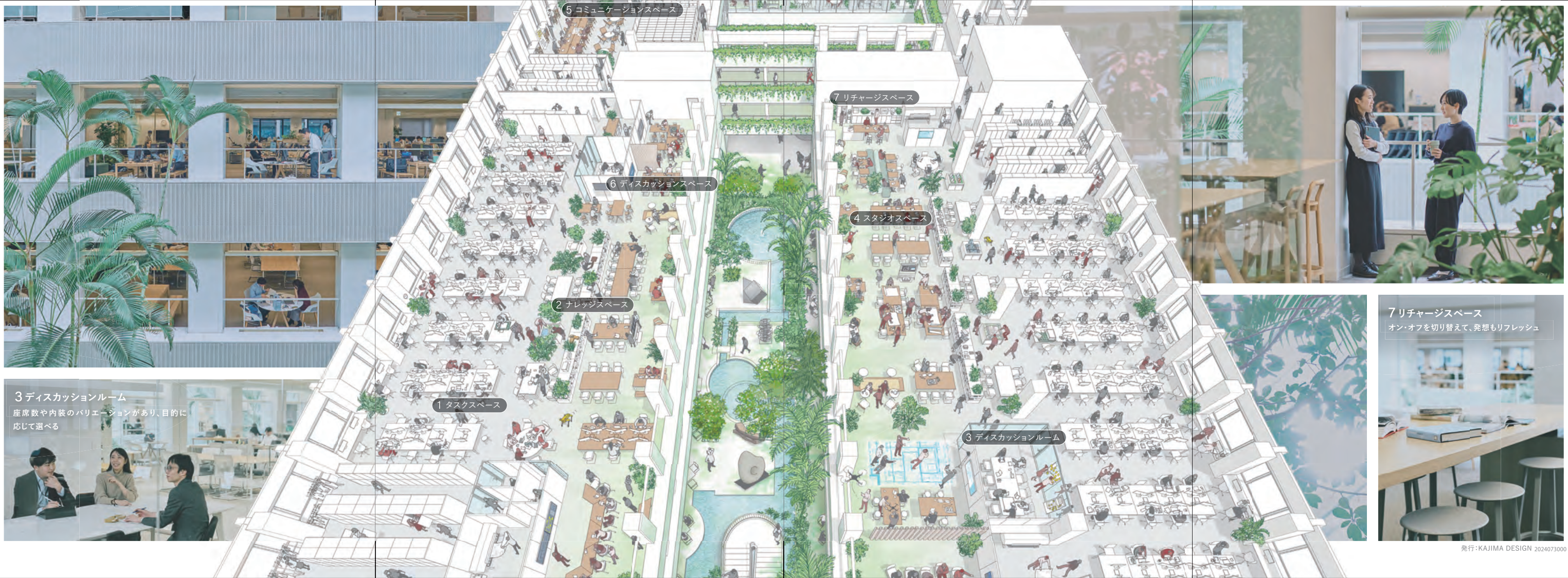
4 スタジオスペース
創造性とコミュニケーションを高める協働エリアのスペース。チームメンバーとのコミュニケーションやアイデア出しなど、コラボレーションを加速させる空間



5 コミュニケーションスペース
共有し共感し協働するための“クロスラウンジ”というスペース。人々とともに情報とアイデアが集い、交わる場



6 ディスカッションスペース
オープンに議論を弾ませるスペース。センターエリアに高さやサイズなど種類の異なるファニチャーを設えており、目的や内容に応じてカスタマイズできる



3 ディスカッションルーム
座席数や内装のバリエーションがあり、目的に応じて選べる



7 リチャージスペース
オン・オフを切り替えて、発想もリフレッシュ